第7章

ダイレクト送信の受信側を設定する

ダイレクト送信の受信側の設定をする

カメラのダイレクト送信の受け側となるパソコンの準備、設定作業を説明します。

・ダイレクト送信の利用方法については、通信/インターネット編「コンピューターにダイレクトに送信する」「ダイレクト送信を使う」をご覧ください。

Windows の場合

ここでは、受信側となるパソコンの準備作業のおおまかな操作を示します。実際のインストールや設定に関しては、Windowsのヘルプや説明書を参考にしてください。
受信側となるパソコンには、付属のCD-ROMに入っている「ダイレクト通信」ソフトウェア以外に、Windowsに付属する「ダイヤルアップサーバー」というソフトウェアをインストールする必要があります。

「ダイレクト通信」ソフトウェアは第1章を参照してインストールしてください。

一方「ダイヤルアップサーバー」ソフトウェアは、標準的な Windows のインストール作業ではインストールされません。ここでは「ダイヤルアップサーバー」のインストール方法から説明します。

また、あらかじめモデムを正しく接続しておいてください。モデムを使ってインターネットに接続できる状態になっていれば大丈夫です。

■ダイヤルアップサーバーソフトウェアのインストール

ここでは Windows98 での設定方法を説明します。
「ダイヤルアップサーバー」ソフトウェアをインストールします。Windows98 の CD-ROM を用意してから操作をはじめましょう。

・ネットワークコンポーネントにダイヤルアップアダプタが表示されていないとダイヤルアップサーバーソフトウェアのインストールを行えません。→ P.167「ダイヤルアップアダプタをインストールする」

❶［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択します。

コントロールパネルのウィンドウが開きます。

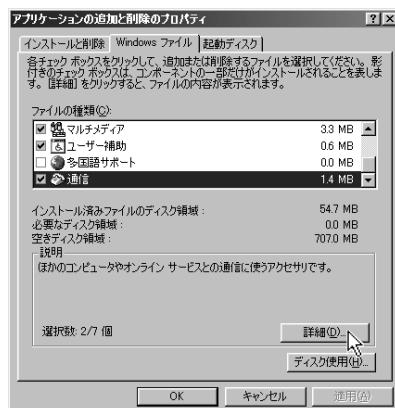
❷［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」のウィンドウが開きます。

❸［Windows ファイル］タブをクリックします。

Windows ファイルの画面が表示されます。

❹［通信］を選択し、［詳細］をクリックします。

次のような画面が表示されます。

❺［ダイヤルアップサーバー］にチェックマークを入れ、［OK］をクリックします。

❻［OK］をクリックします。

これでインストールがはじまります。画面のメッセージにしたがって、Windows の CD-ROM をセットし、インストールを進めてください。

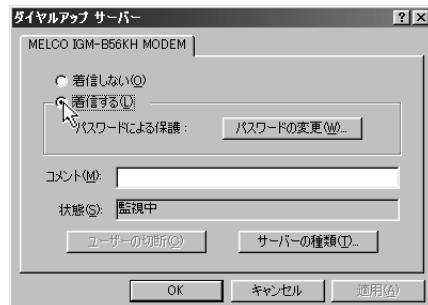
■受信側となるパソコンの準備

ソフトウェアのインストールが完了したら、次のような操作で電話の待ち受け状態にします。ダイレクト送信機能を使ってカメラから電話がかかってきたとき、自動的に受信状態に切り替わります。

❶［マイコンピュータ］をダブルクリックし、［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックします。

❷［接続］メニューから［ダイヤルアップサーバー］を選択します。

ダイヤルアップサーバの設定画面が表示されます。

❸［着信する］を選択します。

❹［パスワードの変更］をクリックします。

パスワードの設定画面が表示されます。

❺パスワードを設定します。

はじめてパスワードを設定する場合には、「古いパスワード」には何も入力しないで、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」の部分に設定するパスワードを入力します。

ここで設定したパスワードは、カメラ側のセットアップ「ダイヤルアップ接続先の設定」の「PPP パスワード」として設定することになります。

❻［OK］をクリックしてパスワードのウィンドウを閉じます。

❼［サーバーの種類］をクリックします。

サーバーの種類の設定画面が表示されます。

❽［ダイヤルアップサーバーの種類］で［PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows98］を選択します。

❾［ソフトウェア圧縮をする］はチェックマークが入っている状態に、［暗号化パスワードを使う］はチェックマークが入っていない状態に設定します。

❿［OK］をクリックして「サーバーの種類」のウィンドウを閉じます。

⓫［OK］をクリックして「ダイアルアップサーバー」のウィンドウを閉じます。

⓬［スタート］メニューから、［プログラム］-［RDC-i ダイレクト通信］を選択します。

次のような画面が表示されます。

RDC-i ﾀﾞｲﾚｸﾄ通信
設定(F)
ﾎﾟｰﾄ番号(P): 6222
ﾕｰｻﾞｰ名(U): anonymous
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ(W): *********
ﾀﾞｲﾚｸﾄ通信 ﾙｰﾄﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ(R): C:¥
ﾀﾞｲﾚｸﾄ通信 ﾛｸﾞﾌｧｲﾙ名(L):
適用(A)
接続状況(N)
開始(S)　終了(Q)　隠す(H)

⓭［ダイレクト送信 ルートディレクトリ］と［ダイレクト通信 ログファイル名］を設定します。

ダイレクト通信 ルートディレクトリ：
ファイルを受信するフォルダーを指定します。カメラ側で送信先フォルダーを指定する場合は、空白のままにしておきます。

ログファイル名：
ダイレクト送信のログファイル（接続や送信の履歴）を残す場合には、ここでそのファイル名を設定します。何も入力しなければログファイルは作られません。

補足 ・ポート番号、ユーザー名、パスワードは設定する必要はありません。

⓮［開始］をクリックします。

これで、ダイレクト送信の待ち受け状態になります。
外出先などからダイレクト送信を行う場合には、会社を出る前に、この画面を開き、［開始］をクリックしておくことを忘れないようにしてください。

［隠す］をクリックすると、ウィンドウが閉じ、タスクバーの右端にアイコンが追加されます。これをクリックすれば、元のウィンドウが表示されます。

補足 ・［開始］をクリックした後、設定を変更した場合には、［適用］をクリックします。（待ち受け状態のまま設定が変更されます）

・ダイレクト送信の受信側の設定が正常にされているにもかかわらず、ダイヤルアップサーバーが正常に動作しないときは、ダイヤルアップの設定を確認してください。→P.168「ダイヤルアップ設定を確認する方法」

Macintoshの場合

ここでは、受信側となるMacintoshの準備作業のおおまかな操作を示します。実際のインストールや設定に関しては、Macintoshやソフトウェアのヘルプや説明書を参考にしてください。

・MacOS9より前のバージョン（8.6など）のMacOSをお使いの場合には、ARA（Apple Remote Access：市販のソフトウェア）のインストールが必要です。また、MacOS9をお使いの場合でも、コントロールパネルに「リモートアクセス」が表示されない場合には、機能拡張マネージャを開き、ARAソフトウェアにチェックマークを付けて再起動してください。（リモートアクセスがインストールされていない場合には、MacOS9のCD-ROMからインストールを行ってください）

■受信側となるMacintoshの準備

次のような操作で電話の待ち受け状態にします。ダイレクト送信機能を使ってカメラから電話がかかってきたとき、自動的に受信状態に切り替わります。

●TCP/IPの設定

お使いのMacintoshが、LANに接続されていない場合には、コントロールパネルの「TCP/IP」を開き、「経由先」で［Ethernet］を、「設定方法」で［手入力］を選択してください。さらに「IPアドレス」を「1.1.1.1」、「サブネットマスク」を「255.255.255.0」、「ルータアドレス」を「1.1.1.2」、「ネームサーバアドレス」を「1.1.1.3」に設定してください。
各アドレスは、上記以外の数字でもかまいませんが、必ず先頭の3つの数字が同じ数字になるようにしてください。また、「0.0.0.0」などネットワーク上で特別な意味のある数字は設定しないようにしてください。

●リモートアクセスの設定

コントロールパネルの「リモートアクセス」を開き、［リモートアクセス］メニューから［電話応対の設定］を選択します。表示された画面で「かかってきた電話に応対」と「PPP接続することをTCP/IPクライアントに許可」にチェックマークを入れます。続いて「省略時のクライアントIPアドレス」に「1.1.1.4」を入れた後、［OK］をクリックします。
リモートアクセスのプログラムはそのまま開いた状態にしておきます。

●ファイル共有の設定

コントロールパネルの「ファイル共有」を開き、[開始／停止] タブをクリックします。ネットワークIDの「所有者の名前」、「所有者のパスワード」を確認します。(この文字を、カメラ側でPPPアカウントとPPPパスワードとして設定することになります)

次に[利用者&グループ] タブをクリックし、所有者 (上の「所有者の名前」と同じ名前のもの)を選択し、[開く]をクリックします。「表示項目」のポップアップメニューで[リモートアクセス]を選び、[このコンピュータに電話をかけて接続することを利用者に許可する]にチェックマークを付け、コントロールパネルを閉じます。

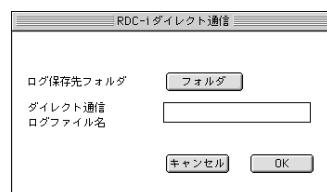
●「RDC-iダイレクト通信」ソフトウェアを使う

❶ [RDC-iダイレクト通信] を起動します。

インストール直後には、起動ディスクのルートフォルダーに「RDC-iダイレクト通信」がインストールされています。

❷ ダイレクト送信のログファイル(接続や送信の履歴)を残す場合には、その保存先フォルダーとファイル名を設定します。

ここでログ保存先として指定したフォルダーに、カメラから送られた画像が保存されます。

ログファイルが必要ない場合は、ログファイル名を空白のままにしておきます。

❸ [OK] をクリックします。

これで、ダイレクト送信の待ち受け状態になります。

外出先などからダイレクト送信を行う場合には、事前にMacintoshをこの状態にしておくことを忘れないようにしてください。